

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	近隣センター等管理（南区）				事業番号	215-012	
担当部署名	南区役所	局	—	部	自治推進課		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	—		施策	—		
			無	取組の方向性	—					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.3		
			有	取組	地域住民のつながり強化、住民自治の推進					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		

2	関連計画	—		
3	事業開始年度	平成 21 年度	点検対象年度（個別計画）	令和 12 年度
4	実施根拠	—		

事業の概要

5	事業の実施主体	南区、地域団体・市民					
6	事業の対象	校区自治連合会・単位自治会				対象数	単位
						—	—
7	事業の目的	地域が主体的に再生に向けたまちづくりに取り組めるよう支援することを目的とする。（南区の地域コミュニティ活動を側面から支援）					
8	事業内容	大阪府より引き継いだ泉北ニュータウン近隣センター等資産のうち自治会活動への支援となる公有財産の貸付、維持管理を実施。また、泉北ニューデザイン推進協議会及びその他ワーキンググループに参加し、大阪府や泉北ニューデザイン推進室を中心に、相互に連携して取り組むべき事項について協議し、具体的な方策を検討。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	校区自治連合会（無償貸与）					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	資産の有効活用	件		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	17	17	17	17
			実績値	16	16		
	達成率	94%	94%				
当該指標を選定した理由		地域コミュニティ活動に関する財産を継続的に貸付することで、有効活用を図る。					
目標値の設定根拠・算出方法		地域コミュニティ活動に関する財産の所管件数のうち、多目的広場及び近隣センター駐車場の数					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	地域コミュニティ活動に関する財産の維持管理	件		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	17	17	17	
			実績値	17	17		
	達成率	100%	100%				
当該指標を選定した理由		地域コミュニティ活動に関係する財産を適切に維持管理することで、資産の有効活用に寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		地域コミュニティ活動に関する財産の所管件数のうち、多目的広場及び近隣センター駐車場の数					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	近隣センター等管理（南区）	事業番号	215-012
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	1,287	1,934	48,754	35,462	40,092
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（泉北丘陵地区整備基金）	0	992	45,700	34,065	36,000
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	1,287	942	3,054	1,397	4,092
14	人件費（b）	1,620	1,620	1,680	1,680	1,740
15	年間経費（c）=(a)+(b)	2,907	3,554	50,434	37,142	41,832

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	電気使用料	R8	予算	77	77	施設等管理委託業務	R8	予算	1,106	1,106
		R7	決算	82	82		R7	決算	3,000	3,000
	施設等修繕料	R8	予算	0	0	フェンス取替工事	R8	予算	32,118	0
		R7	決算	300	300		R7	決算	0	0
	工事設計業務	R8	予算	957	0	便所新築ほか工事	R8	予算	0	0
		R7	決算	0	0		R7	決算	35,000	0
	工事地質調査業務	R8	予算	990	0	水道加入負担金	R8	予算	0	0
		R7	決算	0	0		R7	決算	345	345
	工事監理業務	R8	予算	0	0	その他	R8	予算	214	214
		R7	決算	1,000	0		R7	決算	365	365
		R8	予算	0	0		R8	予算	0	0
		R7	決算	0	0		R7	決算	0	0

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
			16	16
17	① 資産の有効活用	件	16	16
	② 上記①にかかる年間経費	千円	3,554	37,142
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	222,125	2,321,375
	算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和7年度は、令和6年度に設計を行ったフェンスの取替工事及び令和8年度に実施予定である便所新築工事の設計及び地質調査費用により、単位当たり経費が増加している。 なお、恒常的に発生している維持管理等に関する経費については前年度と同水準で推移していることから、費用対効果についても前年度と同水準であると考えられる。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	近隣センター再生事業の一環として、近隣センターに関係する財産の貸付をする等、南区の地域コミュニティ活動推進に寄与している。 今後も引き続き、泉北ニューデザイン推進室と連携し、近隣センター再生に向け支援していく。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	地域コミュニティに関係する財産の維持管理を行う本事業は、継続的な地域住民の交流を支える基盤として必要性は高いと考える。 一方で、事業目的である近隣センター再生への具体的な効果を十分に把握できていないことから、有効性は低いと判断した。
	有効性	□ 高い ■ 低い	